

幼稚園・小学校・中学校 合同引き取り訓練実施

9月1日(土)まさに防災の日に、幼・小・中学校の合同引き取り訓練が行われました。

10時40分校内放送で校長先生の話が始まり、いよいよ訓練の開始です。11時00分各教室で、担任の先生より引き取り訓練の説明が有り、



11時10分過ぎより保護者による引き取りが始まりました。保護者は教室の入り口に1列に並び、先生に子どもの名前を告げ引き取っていました。

今回は初めての幼・小・中学校の合同引き取り訓練となり、学年年齢の違いの兄弟がいる保護者の方は、まず小学校の教室で



小学生を引き取ってから、幼稚園



児・中学生が待つ小学校の港南ひるばに迎えに行きました。幼稚園児は全員、中学生は事前のアンケートで保護者が迎えに来られる子ども達(他の子ども達は、中学校から集団下校)が待っていました。

幼稚園児を持つ保護者の方は、お迎えがとも早かったです。

保護者のお迎えのない子ども達は、体育館に集合し、先生の話聞いてから集団下



校となります。土曜日ということもあり、残っている生徒が思った以上に少なかつたような気がしました。



人数が多いので、廊下や階段は人で溢れていました。特に階段は、昇ってくる人と降りる人で混雑をしていました。途中、先生が付き2つの階

段を使用しました。が、訓練と言うこともあり立ち話をしている人が多く通路は詰まっていた。昇りの階段と下りる階段を分けていたら良かったのかも



しれません。小学生のお迎えの後の幼稚園児・中学生の引き取りはスムーズにいった

と思います。予想外の大雨で出口も混雑していました。

全体的に混雑はしていましたが混乱はしていませんでした。

防災ネットワーク事務局

星野 記



【編集後記】

今年度、初の試みになる幼・小・中学校合同引き取り訓練。見学という立場で参加した私たちは、その後の反省会等でどんな意見が出、教職員の皆さんはどのように感じたのかは判りません。父兄の方の感想も聞き逃してしまいました。が、かなりスムーズに引き取りが行われたと思います。

保護者の皆さんが引き取りに来られる状況での訓練だったからでしょうか、教室で待っている子供たちも、先生も皆落ち着いて決められた通り行動していました。引き取りへ来られたお母さんたちは、入口や階段、廊下でお話しをしながら訓練に参加されました。

トップのサブタイトルにも書きました。いつ起きるか分からない実際の災害発生時に皆さんは、自分の子供たちを迎えにいけると思いきんではないでしょうか。

自宅地震に遭遇したお母さん、室内で怪我をせず、電気が止まり、動かないエレベーターを使用せず、小学校まですぐ行けるで

でしょうか。仕事で出かけているお父さん、交通機関は止まり、携帯電話は使えず連絡も取れないなか、家族の安否確認も出来ないでしょうか。その時、お父さん・お母さんが怪我をしないで動ける状態であることが子供たちを守る唯一の方法です。家族で、地震が起きた時の事を話し合っておく、お母さんは怪我をしないで絶対迎えに行くからね”、先生の言う事を聞き、学校で待っていてね”、お父さんは、連絡が取れなくても必ず、家に戻るからね”そんな話を家族でしておけば、子供たちは何時間でも待てるのではないのでしょうか。お母さんは怪我をしない為の意識を持てるのではないのでしょうか。それが減災に繋がります。大規模災害発生時、もっとも大切なことは、自分が怪我をしないで生き延びることです。

記事編集 発行

港南防災

ネットワーク

連絡先 会長 飯塚 則男

03 5460 0703